

平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 IMV株式会社

コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 柏井 宏夫

TEL 06-6478-2565

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年9月期第3四半期 | 3,361 | △18.9 | △77 | — | △64 | — | △164 | — |
| 20年9月期第3四半期 | 4,145 | 21.7 | 85 | △36.2 | 122 | △45.0 | 54 | △60.5 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年9月期第3四半期 | △10.09 | — |
| 20年9月期第3四半期 | 3.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年9月期第3四半期 | 6,440 | 2,077 | 32.3 | 127.09 |
| 20年9月期 | 7,304 | 2,306 | 31.6 | 141.08 |

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 2,077百万円 20年9月期 2,306百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年9月期 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| 21年9月期 | — | 0.00 | — | | |
| 21年9月期(予想) | | | | 2.00 | 2.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,400 | △23.0 | △50 | — | △60 | — | △195 | — | △11.93 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 —社 (社名)) 除外 —社 (社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年9月期第3四半期 | 16,957,016株 | 20年9月期 | 16,957,016株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年9月期第3四半期 | 609,832株 | 20年9月期 | 608,832株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年9月期第3四半期 | 16,347,532株 | 20年9月期第3四半期 | 16,545,815株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや在庫調整により最悪期を脱しつつあるものの、依然として設備や雇用の過剰感は払拭されず、企業業績には厳しい状況が続きました。

この様な環境の中、当社グループは中期事業計画を「新PRESTO2013」として5カ年の計画に見直しており、既存事業の効率化を進め、新規事業にリソースを再配分することで事業成長を実現し、グローバルシェアを拡大する方針を打ち出しております。

当第3四半期連結累計期間においては、省エネ型振動シミュレーションシステムを開発し受注を開始したほか、中国におけるアフターサービス業務委託契約の締結や、欧州への輸出に不可欠なCEマーキング対応製品のリリースなど、輸出拡大に向けた取り組みを行いました。また、鉄道車両機器向けの試験装置を導入した新たな受託試験施設を開設いたしました。

業績につきましては、主要顧客である自動車関連業界を中心に在庫調整が一巡したことにより生産面では回復が見られますが、先行きが不透明な中で設備投資の回復は遅れており、受注について底打ち感が見られるものの足下の回復は弱含んでおります。この様な事業環境下において、当社は鉄道車両用機器向けの受託試験や官公庁向けの計測震度計といった自動車関連業界以外への営業活動を強化しており、一定の成果は出ておりますが、落ち込みを補うには至らず、全ての事業部門において前年同四半期の売上高を下回る結果となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は3,361百万円となり、前年同四半期と比べ784百万円の減収(対前年同四半期比18.9%減)となりました。利益面では、損益分岐点の改善を最優先課題と位置づけ、継続的なコストダウン活動に加え、受注の減少に併せて固定費の削減を進めておりますが、売上高の減少による限界利益の減少やテナントの退去に伴う受取賃貸料の減少等により経常損失は64百万円となり前年同四半期と比べ187百万円の減益(前年同四半期は経常利益122百万円)となりました。また、当第3四半期連結累計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」が適用され、たな卸資産評価損を計上したことや繰延税金資産の取り崩しを行ったこと等により、四半期純損失は164百万円となり前年同四半期と比べ219百万円の減益(前年同四半期は四半期純利益54百万円)となりました。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、当社が推進する振動試験高度化計画ISMの中核技術であるISM-EM技術により、大幅な省エネ効果が期待できる「エコシェーカー」を開発し、受注を開始いたしました。また、中国最大の振動試験装置メーカーである蘇州蘇試試験儀器有限公司と中国におけるアフターサービス業務委託契約を締結いたしました。その他、ヨーロッパ連合地域での製品販売における安全に関する指令に適合したCEマーキング対応製品をリリースいたしました。

売上高につきましては、建設機械業界向け大型6自由度振動シミュレーションシステムや自動車関連業界向け多軸2ポスター(ロードシミュレーター)といった大型案件の計上がありました。自動車関連業界を中心に設備投資の回復が遅れており、特に同業界向けの販売が多いオールウェザーシミュレーションシステムの受注が低迷したため、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は2,345百万円となり前年同四半期と比べ502百万円の減収(対前年同四半期比17.6%減)となりました。

(メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、地震計の販売強化を目指して新たに地震防災機器営業所を開設し、地方公共団体への計測震度計の拡販に注力いたしました。また、主力製品である携帯型振動計「カードバイブロ」や輸送環境記録計の新製品のほか、環境信頼性評価システムの分野において、需要が高まる太陽光発電システム向けのテスターをリリースいたしました。

売上高につきましては、地震監視装置のOEM供給先において更新需要が増加しているものの、半導体関連業界の不況に伴い環境信頼性評価システムが低迷したほか、電気計測器全般の市場環境の回復も遅れており、地震監視装置を除く全ての製品群において前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は608百万円となり前年同四半期と比べ144百万円の減収(対前年同四半期比19.2%減)となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、大阪テストラボにおいて、鉄道車両機器向け大型6自由度振動シミュレーションシステム及び燃料電池等の試験に対応した加振力122kNの大型振動シミュレーションシステムを設備した新たな受託試験施設を開設いたしました。また、東京テストラボと名古屋テストラボにおいてISO/IEC17025に準拠したIECQ独立試験所の認定を取得いたしました。その他、名古屋テストラボにおいて、衝撃試験装置及び落下試験装置を導入し、試験サービスの拡大を図りました。

売上高につきましては、新施設を開設したことにより鉄道車両関連業界向けの試験は増加しておりますが、主に自動車関連業界向けの試験が減少したことにより、全てのテストラボにおいて前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は407百万円となり前年同四半期と比べ137百万円の減収(対前年同四半期比25.2%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ863百万円減少し、6,440百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ867百万円減少し、2,688百万円となりました。この主な要因は現金及び預金の増加63百万円、有価証券の増加22百万円、仕掛品の増加51百万円及び未収税金の増加66百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少837百万円、製品の減少134百万円及び原材料の減少81百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ3百万円増加し、3,752百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の減少29百万円があったものの、鉄道車両機器向けの新試験棟の建設等による有形固定資産の増加105百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ635百万円減少し、4,362百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ416百万円減少し、2,614百万円となりました。この主な要因は短期借入金の増加260百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加107百万円があったものの、1年内償還予定の社債の減少48百万円、未払法人税等の減少98百万円及び未払消費税の減少65百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ218百万円減少し、1,748百万円となりました。この主な要因は社債の減少50百万円及び長期借入金の減少147百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ228百万円減少し、2,077百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の減少230百万円によるものであります。純資産が減少したものの、負債の減少割合がより大きかったため、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ7ポイント増加し32.3%となりましたが、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の141円08銭に対し、127円09銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間を受け、当初の想定よりも受注の回復に遅れが見られることに鑑み、平成21年5月8日に開示しております「平成21年9月期 第2四半期決算短信」記載の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成21年8月7日)別途開示しております「平成21年9月期 業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は1,537千円減少し、営業損失及び経常損失は1,537千円増加し、税金等調整前四半期純損失は23,373千円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 480,972 | 417,094 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,216,055 | 2,053,551 |
| 有価証券 | 22,493 | — |
| 製品 | 30,665 | 164,715 |
| 原材料 | 157,075 | 238,409 |
| 仕掛品 | 575,947 | 524,531 |
| その他 | 206,183 | 159,227 |
| 貸倒引当金 | △1,100 | △1,300 |
| 流動資産合計 | 2,688,293 | 3,556,230 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,211,815 | 1,212,123 |
| 土地 | 1,751,339 | 1,756,589 |
| その他(純額) | 342,043 | 230,763 |
| 有形固定資産合計 | 3,305,198 | 3,199,476 |
| 無形固定資産 | 66,991 | 86,692 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 380,094 | 462,152 |
| 貸倒引当金 | △214 | △214 |
| 投資その他の資産合計 | 379,880 | 461,937 |
| 固定資産合計 | 3,752,070 | 3,748,106 |
| 資産合計 | 6,440,364 | 7,304,337 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 713,642 | 1,182,799 |
| 短期借入金 | 840,000 | 580,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 564,740 | 456,824 |
| 1年内償還予定の社債 | 160,000 | 208,000 |
| 未払法人税等 | — | 98,253 |
| 製品保証引当金 | 42,000 | 45,000 |
| その他 | 293,778 | 460,069 |
| 流動負債合計 | 2,614,161 | 3,030,947 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 100,000 | 150,000 |
| 長期借入金 | 1,330,161 | 1,477,442 |
| その他 | 318,503 | 339,574 |
| 固定負債合計 | 1,748,664 | 1,967,016 |
| 負債合計 | 4,362,825 | 4,997,964 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 464,817 | 464,817 |
| 資本剰余金 | 557,563 | 557,563 |
| 利益剰余金 | 1,158,345 | 1,388,618 |
| 自己株式 | △109,082 | △108,970 |
| 株主資本合計 | 2,071,642 | 2,302,027 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,896 | 4,344 |
| 評価・換算差額等合計 | 5,896 | 4,344 |
| 純資産合計 | 2,077,539 | 2,306,372 |
| 負債純資産合計 | 6,440,364 | 7,304,337 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | 3,361,623 |
| 売上原価 | 2,649,095 |
| 売上総利益 | 712,527 |
| 販売費及び一般管理費 | 790,525 |
| 営業損失(△) | △77,997 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,623 |
| 受取配当金 | 634 |
| 受取賃貸料 | 50,964 |
| 助成金収入 | 14,035 |
| 雑収入 | 23,227 |
| 営業外収益合計 | 90,485 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 30,631 |
| 有価証券評価損 | 15,883 |
| 賃貸収入原価 | 4,564 |
| コミットメントフィー | 10,000 |
| 雑損失 | 16,299 |
| 営業外費用合計 | 77,378 |
| 経常損失(△) | △64,889 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 200 |
| 特別利益合計 | 200 |
| 特別損失 | |
| たな卸資産評価損 | 21,835 |
| 投資有価証券評価損 | 7,618 |
| 固定資産除却損 | 9,937 |
| 前期損益修正損 | 11,291 |
| 減損損失 | 6,078 |
| 特別損失合計 | 56,761 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △121,451 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,966 |
| 過年度法人税等 | △3,340 |
| 法人税等調整額 | 44,803 |
| 法人税等合計 | 43,428 |
| 四半期純損失(△) | △164,880 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | | 当第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) |
|-----------------|--|---|
| 売上高 | | 605,638 |
| 売上原価 | | 577,914 |
| 売上総利益 | | 27,724 |
| 販売費及び一般管理費 | | 218,742 |
| 営業損失(△) | | △191,018 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | | 510 |
| 受取配当金 | | 284 |
| 有価証券評価益 | | 7,186 |
| 受取賃貸料 | | 308 |
| 助成金収入 | | 14,035 |
| 雑収入 | | 8,361 |
| 営業外収益合計 | | 30,687 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | | 9,727 |
| 賃貸収入原価 | | 174 |
| 雑損失 | | 6,361 |
| 営業外費用合計 | | 16,263 |
| 経常損失(△) | | △176,593 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | | 200 |
| 特別利益合計 | | 200 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | | △176,393 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | △2,393 |
| 法人税等調整額 | | 17,186 |
| 法人税等合計 | | 14,792 |
| 四半期純損失(△) | | △191,186 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日) | |
|--|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △121,451 |
| 減価償却費 | 197,738 |
| 減損損失 | 6,078 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △200 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △3,000 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △11,071 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,257 |
| 受取賃貸料 | △50,964 |
| 支払利息 | 30,631 |
| 為替差損益 (△は益) | 1,026 |
| 固定資産除却損 | 9,937 |
| 有価証券評価損益 (△は益) | 15,883 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 7,618 |
| 前期損益修正損益 (△は益) | 11,291 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 837,496 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 163,968 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △468,743 |
| その他 | △211,619 |
| 小計 | 412,361 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,719 |
| 利息の支払額 | △31,208 |
| 法人税等の支払額 | △158,450 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 224,422 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △11,152 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △301,811 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 17,980 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,359 |
| 定期預金の預入による支出 | △6,168 |
| その他 | 41,718 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △261,794 |

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年10月1日
 至 平成21年6月30日)

| | |
|----------------------|----------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 260,000 |
| 長期借入れによる収入 | 340,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △379,365 |
| 社債の償還による支出 | △98,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △112 |
| 配当金の支払額 | △65,403 |
| その他 | △11,012 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 46,107 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,026 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 7,708 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 358,159 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 365,868 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等
(要約)四半期連結損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年9月期第3四半期) |
|----------------|---------------------------|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 売上高 | 4,145,677 |
| II 売上原価 | 3,073,230 |
| 売上総利益 | 1,072,447 |
| III 販売費及び一般管理費 | 987,135 |
| 営業利益 | 85,311 |
| IV 営業外収益 | 99,536 |
| V 営業外費用 | 62,112 |
| 経常利益 | 122,734 |
| VI 特別利益 | 64,672 |
| VII 特別損失 | 265 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 187,141 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 132,516 |
| 四半期純利益 | 54,624 |

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

| 区分 | 期別 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | |
|-----------------|----|--|--------|
| | | 金額(千円) | 構成比(%) |
| 振動シミュレーションシステム | | 2,148,928 | 68.0 |
| メジャリングシステム | | 602,495 | 19.1 |
| テスト&ソリューションサービス | | 409,069 | 12.9 |
| 計 | | 3,160,494 | 100.0 |

(受注高実績)

| 区分 | 期別 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | |
|-----------------|----|--|--------|
| | | 金額(千円) | 構成比(%) |
| 振動シミュレーションシステム | | 1,275,687 | 56.0 |
| メジャリングシステム | | 592,397 | 26.0 |
| テスト&ソリューションサービス | | 411,040 | 18.0 |
| 計 | | 2,279,125 | 100.0 |

(受注残実績)

| 区分 | 期別 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | |
|-----------------|----|--|--------|
| | | 金額(千円) | 構成比(%) |
| 振動シミュレーションシステム | | 585,148 | 85.6 |
| メジャリングシステム | | 73,508 | 10.8 |
| テスト&ソリューションサービス | | 24,551 | 3.6 |
| 計 | | 683,208 | 100.0 |

(販売実績)

| 区分 | 期別 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | |
|-----------------|----|--|--------|
| | | 金額(千円) | 構成比(%) |
| 振動シミュレーションシステム | | 2,345,343 | 69.8 |
| メジャリングシステム | | 608,322 | 18.1 |
| テスト&ソリューションサービス | | 407,957 | 12.1 |
| 計 | | 3,361,623 | 100.0 |

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税は含まれておりません。